

## 災害発生時の迅速な情報収集、情報共有を目指した 防災通信機器の設営訓練を実施します

### 「訓練の目的」

ここ数年間では、局所災害の発生や被害の広域化が懸念されています。災害時に適切な対応を行うには、迅速な情報収集が不可欠です。国土交通省東北地方整備局では、毎年各県内の出先機関の連携による衛星通信回線、地上通信回線を使用した防災通信機器の設営及び想定した災害箇所の映像を伝送する防災通信訓練を実施しています。

今年度後期は岩手県沿岸部にて防災通信訓練を実施します。

本訓練では、機器操作の習熟を行うとともに、防災に対する意識の更なる高揚を図るとため、関係自治体である山田町役場への映像提供を行い、実際の災害発生時における地方公共団体との連携強化を図ります。

三陸国道事務所ホームページ

URL <https://www.thr.mlit.go.jp/sanriku/>

- 場 所  
三陸国道事務所  
山田町役場  
山田町総合運動公園  
山田町観光協会  
東北地方整備局 災害対策室
- 実施日  
令和4年11月24日(木) 10:00～15:00  
予備日：令和4年11月25日(金)  
※災害発生が予想される場合は、訓練を中止する場合があります。
- 訓練内容  
災害対策車及び防災通信資器材の設営  
衛星通信回線を利用した通信及び映像伝送  
地上回線を利用した通信及び映像伝送
- 取材について  
当日の取材は三陸国道事務所災害対策室にて13:00より対応いたします。  
なお、各設営現場においては写真等撮影のみ可能といたします。
- 使用機器  
災害対策本部車、衛星通信車、Ku-SAT、i-RAS、  
公共ブロードバンド、デジタル移動無線  
過去の訓練の様子は次頁のとおり
- 参加機関  
山田町  
東北地方整備局 三陸国道事務所  
岩手河川国道事務所  
南三陸沿岸国道事務所  
北上川ダム統合管理事務所

発表記者会： 岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、  
東北建設専門誌記者会

### 《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

岩手県宮古市藤の川4-1

TEL 0193-62-1711 (代表)

○訓練担当 副所長(管理) このま 香木 かずよし 和義 (内線205)  
建設専門官 よしだ 吉田 さとし 智 (内線407)

# 防災通信訓練 防災通信機器の概要(イメージ)



- ・防災ヘリコプター(みちのく号)に搭載したカメラで撮影した映像を衛星経由で伝送するシステムです。
- ・被災地の状況を途切れることなく、安定的に対策本部などへ配信することができます。

ヘリコプタ搭載型衛星通信装置 (ヘリサット)



- ・アンテナの対向通信で約30km程度離れた地点から、映像や音声の配信を可能とする装置です。
- ・現地対策拠点に執務室と同様の環境を構築できます。

i-RAS (5GHz帯無線アクセスシステム)



- ・災害現場で指揮を行う車両で、災害現地対策本部として機能します。
- ・情報収集のため各種通信機器を装備しています。
- ・車内でテーブル等を設置し10名規模の打合せが可能です。

対策本部車



- ・約5km程度の範囲を移動しながら映像や音声を伝送可能な装置です。
- ・障害物による遮蔽等に強いいため、車両での移動が困難な災害現場において移動しながらの映像伝送が可能です。

公共BB(公共ブロードバンド移動通信システム)



- ・衛星通信装置を搭載した車両で、災害現場の映像を送受信したり、通信を確保したり、災害現場の状況把握に利用します。

衛星通信車



- ・持ち運びできる衛星小型画像伝送装置で、災害現場において衛星回線を用いて映像を伝送することができます。

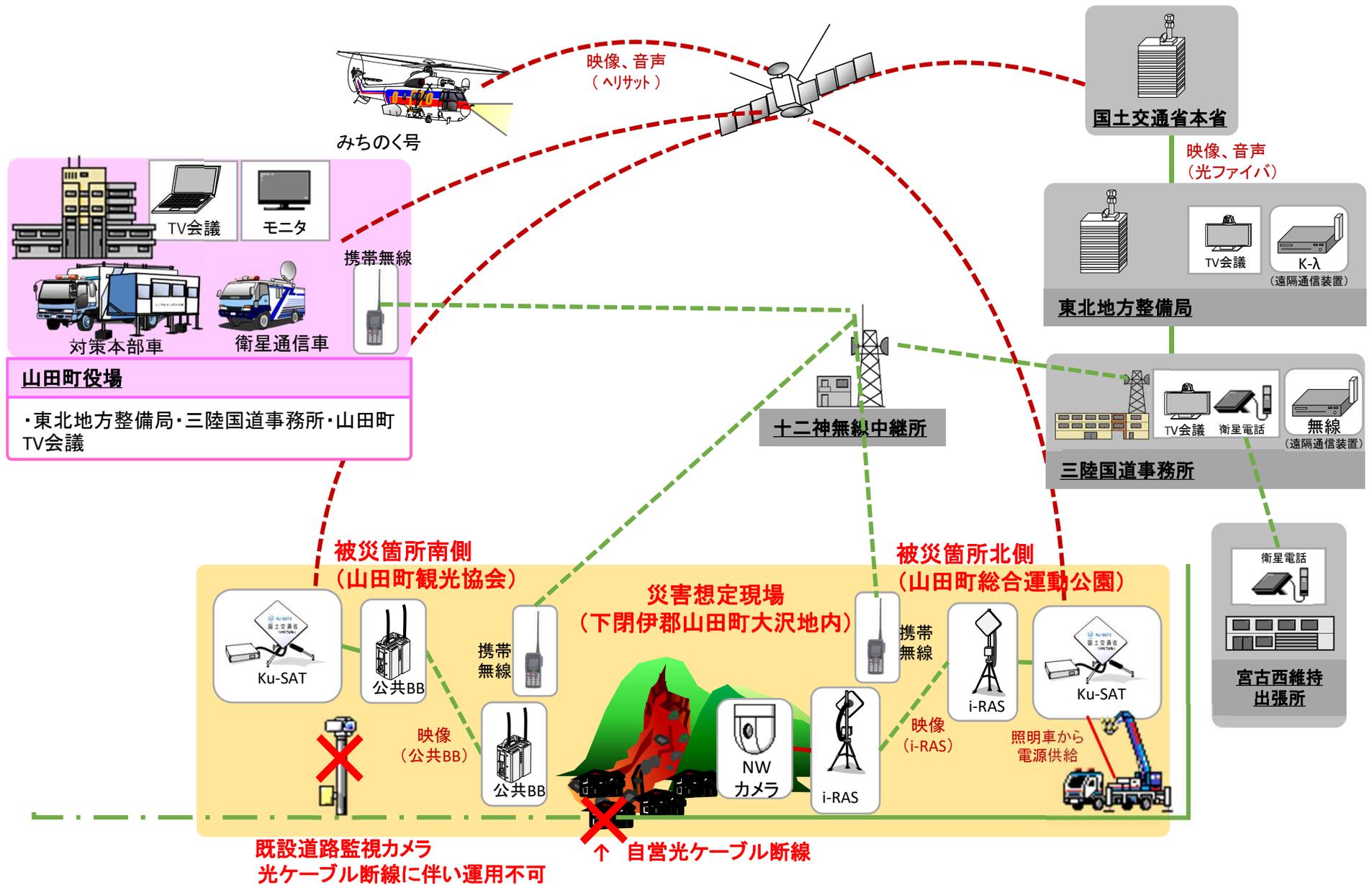
Ku-SAT(衛星小型画像転送装置)



- ・i-RAS、公共BB等による自営回線を構築することで、災害時にもテレビ会議の設営を行うことができます。

テレビ会議システム

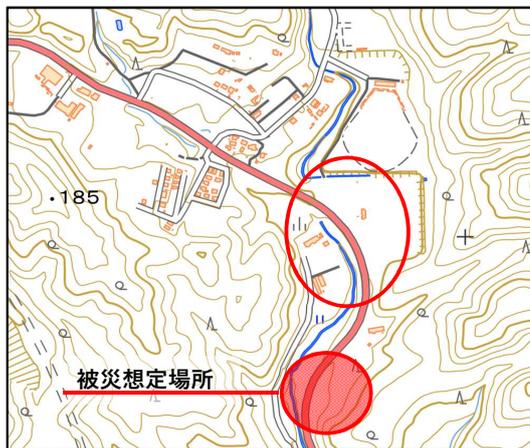
# 令和4年度(後期)防災通信訓練 全体概要図



# ○防災通信訓練 配置図



被災想定箇所北側: 山田町総合運動公園  
Ku-SAT II ①・i-RAS班



被災想定箇所南側: 山田町観光協会  
Ku-SAT II ②・公共BB班



山田町役場  
衛星通信車班・対策本部車班



出典: 地理院地図に訓練箇所を追記して掲載